



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月11日 東

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所
 コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 井出 章子 (TEL) 03-6701-1070
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	120,710	△8.0	17,128	7.5	18,423	4.6	11,924	3.3
27年12月期第1四半期	131,194	—	15,934	—	17,611	—	11,544	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △2,576百万円(—%) 27年12月期第1四半期 6,160百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	33.95	33.88
27年12月期第1四半期	32.92	32.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	679,073	492,928	71.5
27年12月期	701,770	503,589	70.7

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 485,391百万円 27年12月期 496,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	18.00	—	22.00	40.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	260,000	△1.1	32,000	1.2	31,000	△3.6	19,000	△9.2	54.08
通期	540,000	3.5	70,000	5.9	68,000	5.4	40,000	11.9	113.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年12月期 1 Q	354,863,603株	27年12月期	354,863,603株
② 期末自己株式数	28年12月期 1 Q	3,521,763株	27年12月期	3,658,647株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年12月期 1 Q	351,252,579株	27年12月期 1 Q	350,711,358株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2016年1月1日～2016年3月31日)における経営環境は、日本経済は個人消費の停滞や、企業収益の改善ペースが鈍るなど景気回復に足踏みがみられました。世界経済は、米国は雇用情勢が底堅く順調に推移しましたが、欧州は緩やかに景気が回復しているものの、先行きに不透明感があり予断を許さない状況です。中国経済及び新興国経済は景気減速が継続しました。

このような状況において、当社グループは「世界に存在感を示す高収益スペシャリティ化学企業」を実現すべく、2015年度よりスタートした中期経営計画「GS-STEP」において掲げた経営戦略を順次実行しています。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比10,484百万円(8.0%)減の120,710百万円、営業利益は1,194百万円(7.5%)増の17,128百万円、経常利益は811百万円(4.6%)増の18,423百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は380百万円(3.3%)増の11,924百万円となりました。

[ビニリアセテート]

当セグメントの売上高は62,765百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は14,296百万円(同15.7%増)となりました。

- ① ポバール樹脂は総じて堅調に推移しました。光学用ポバールフィルムは液晶パネルの生産調整の影響を受け、販売量が減少しました。水溶性ポバールフィルムは堅調に推移しました。PVBフィルムは中国の需要に回復の兆しが見えました。
- ② EVOH樹脂<エバール>は、自動車ガソリタンク用途、食品包装用途ともに順調に推移しました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は12,672百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益は2,854百万円(同6.3%減)となりました。

- ① イソプレン関連では、ファインケミカル、熱可塑性エラストマー<セプトン>及び液状ゴムは中国の景気減速の影響を受けました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、自動車用途が拡大を続け、コネクタ用途に回復の兆しが見えました。一方で、LED反射板用途は引き続き中国の景気減速の影響を受けました。

[機能材料]

当セグメントの売上高は13,346百万円(前年同期比6.4%減)、営業利益は1,544百万円(同6.8%減)となりました。

- ① メタクリルは、一部樹脂用途で価格対応を余儀なくされました。
- ② メディカルでは、歯科材料の販売が新製品拡充や販売面でのシナジー増大により好調に推移しました。
- ③ 人工皮革<クラリーノ>は、既存プロセス品ならびに新プロセス品ともに堅調に推移しました。

[繊維]

当セグメントは好調なビニロンに加え生活資材も想定通りに進捗した結果、売上高は11,870百万円(前年同期比6.0%減)、営業利益は1,097百万円(同29.7%増)となりました。

[トレーディング]

化学品関連事業は中国の景気減速影響を受け、繊維関連事業は一部用途で低調な国内需要の影響を受けました。この結果、売上高は28,736百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は918百万円(同8.2%減)となりました。

[その他]

その他事業は、総じて堅調に推移しましたが、当第1四半期にエネルギー材料事業が加わったことにより開発費が増加しました。この結果、売上高は15,719百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益は11百万円(同94.7%減)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年2月9日に公表しました連結業績予想については見直しの結果、現時点では変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2013年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 2013年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 2013年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等
を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更し
ました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定に
よる取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法
に変更します。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っ
ています。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期
連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しています。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,996	39,595
受取手形及び売掛金	102,079	98,047
有価証券	18,805	11,000
商品及び製品	77,582	78,109
仕掛品	11,293	11,828
原材料及び貯蔵品	23,310	23,795
繰延税金資産	7,598	7,900
その他	19,430	19,130
貸倒引当金	△611	△446
流動資産合計	296,486	288,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,959	54,075
機械装置及び運搬具(純額)	127,962	123,125
土地	18,508	18,528
建設仮勘定	56,609	57,920
その他(純額)	4,978	4,840
有形固定資産合計	262,019	258,489
無形固定資産		
のれん	28,564	27,868
顧客関係資産	32,244	29,653
その他	23,167	21,963
無形固定資産合計	83,976	79,485
投資その他の資産		
投資有価証券	46,057	38,780
長期貸付金	239	341
退職給付に係る資産	791	864
繰延税金資産	6,361	6,481
その他	5,887	5,719
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	59,287	52,136
固定資産合計	405,284	390,111
資産合計	701,770	679,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,331	36,954
短期借入金	7,187	7,438
未払費用	10,468	8,288
未払法人税等	14,692	7,757
賞与引当金	5,259	7,362
その他の引当金	31	10
その他	19,480	18,166
流動負債合計	95,450	85,978
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	42,257	42,216
繰延税金負債	24,102	23,077
役員退職慰労引当金	185	185
環境対策引当金	353	352
退職給付に係る負債	11,247	10,425
資産除去債務	3,615	3,528
その他	10,966	10,380
固定負債合計	102,729	100,166
負債合計	198,180	186,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,155
利益剰余金	278,899	282,829
自己株式	△4,319	△4,158
株主資本合計	450,682	454,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,808	8,243
繰延ヘッジ損益	△4	△15
為替換算調整勘定	39,377	26,966
退職給付に係る調整累計額	△4,801	△4,584
その他の包括利益累計額合計	45,380	30,610
新株予約権	831	764
非支配株主持分	6,695	6,772
純資産合計	503,589	492,928
負債純資産合計	701,770	679,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
売上高	131,194	120,710
売上原価	91,058	78,889
売上総利益	40,135	41,820
販売費及び一般管理費		
販売費	6,330	6,691
一般管理費	17,871	18,001
販売費及び一般管理費合計	24,201	24,692
営業利益	15,934	17,128
営業外収益		
受取利息	57	55
受取配当金	1,974	1,723
持分法による投資利益	1	10
その他	680	660
営業外収益合計	2,714	2,450
営業外費用		
支払利息	180	184
その他	856	970
営業外費用合計	1,037	1,155
経常利益	17,611	18,423
特別利益		
固定資産売却益	277	—
特別利益合計	277	—
税金等調整前四半期純利益	17,889	18,423
法人税、住民税及び事業税	6,711	5,885
法人税等調整額	△586	343
法人税等合計	6,125	6,228
四半期純利益	11,763	12,194
非支配株主に帰属する四半期純利益	219	269
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,544	11,924

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
四半期純利益	11,763	12,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,182	△2,565
繰延ヘッジ損益	△55	△11
為替換算調整勘定	△7,868	△12,411
退職給付に係る調整額	138	217
その他の包括利益合計	△5,602	△14,771
四半期包括利益	6,160	△2,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,941	△2,845
非支配株主に係る四半期包括利益	219	268

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	60,351	8,156	9,879	9,831	29,627	117,846	13,347	131,194	—	131,194
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,946	5,911	4,378	2,791	569	21,596	3,336	24,932	△24,932	—
計	68,298	14,068	14,257	12,622	30,196	139,443	16,684	156,127	△24,932	131,194
セグメント利益	12,356	3,047	1,656	846	1,000	18,907	212	19,119	△3,184	15,934

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△3,184百万円には、セグメント間取引消去209百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,394百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	55,722	6,798	8,916	9,219	28,110	108,767	11,943	120,710	—	120,710
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,043	5,873	4,430	2,650	625	20,623	3,775	24,399	△24,399	—
計	62,765	12,672	13,346	11,870	28,736	129,391	15,719	145,110	△24,399	120,710
セグメント利益	14,296	2,854	1,544	1,097	918	20,711	11	20,722	△3,594	17,128

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△3,594百万円には、セグメント間取引消去489百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,084百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。